

株式会社ダイフク

平成24年3月期

第2四半期決算説明資料

平成23年11月10日

DAIFUKU

Material Handling and Beyond

- 受注、売上は回復傾向
- 量の拡大が利益面に寄与
- 医薬、流通などの大型案件が堅調
- 自動車生産ライン向け製品は、国内外で大型案件を受注するなど回復基調
- 韓国や北米の半導体工場向けが堅調

2-1. 平成24年3月期第2四半期累計業績(連結)

DAIFUKU

2

受注、売上、利益ともに対前期比増加

(単位: 億円)

(平成24年3月期2Q)

(前年同期)

(対前年同期比)

(8月10日公表)

受注高	932	770	(20.9%増)	1,000
売上高	952	739	(28.8%増)	950
営業利益	10	△7	(18億円増益)	15
経常利益	6	△7	(14億円増益)	13
四半期純利益	△1	△11	(10億円増益)	6
包括利益	3	△31	(35億円増益)	

※億円未満切り捨て

1株当たり 四半期純利益	△1.06円	△10.65円		5.42円
-----------------	--------	---------	--	-------

※ 平成24年3月期2Qの受注は、ローガン社の受注残約60億円を含む

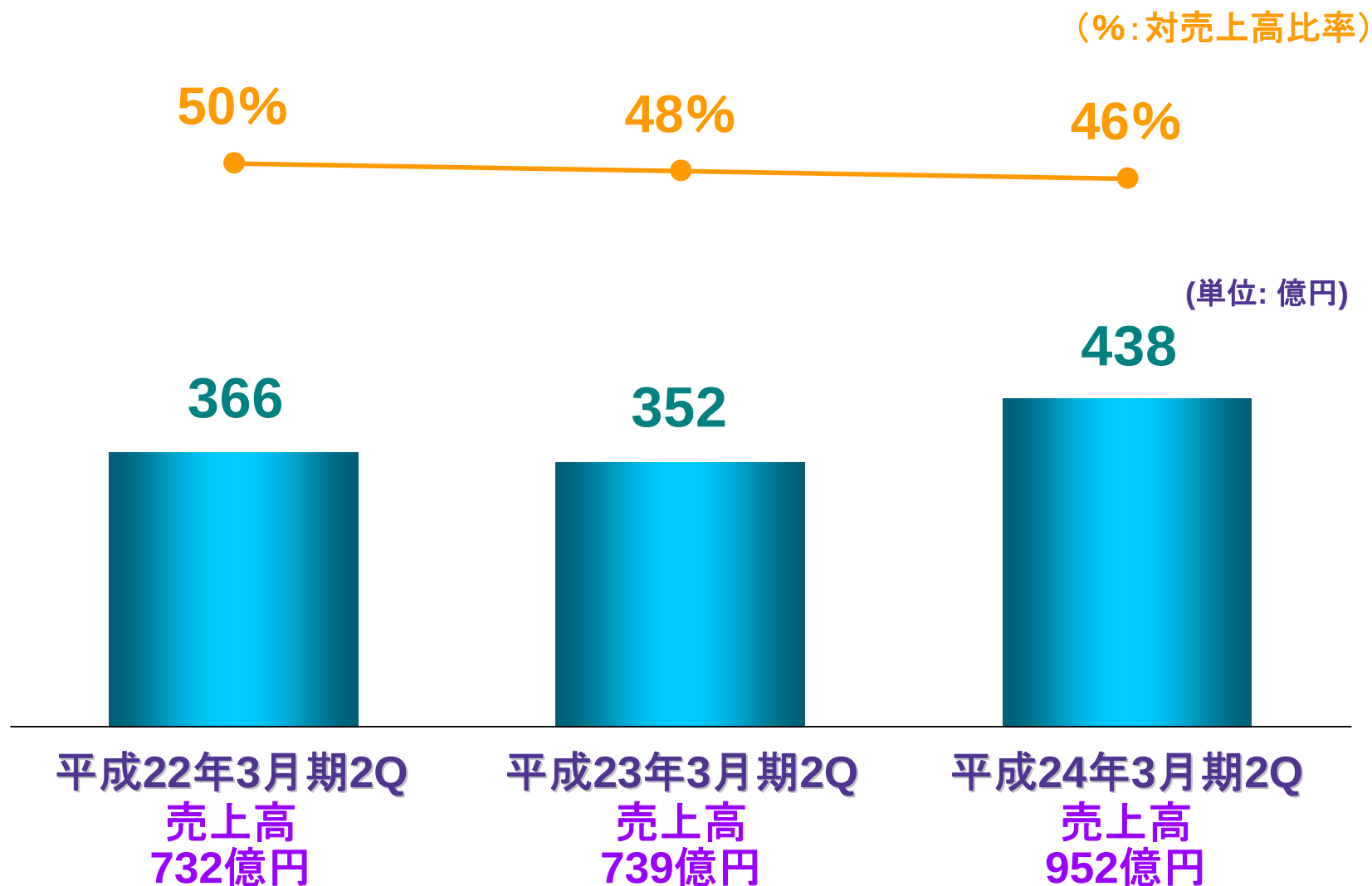
海外子会社を中心に回復

(単位: 億円)

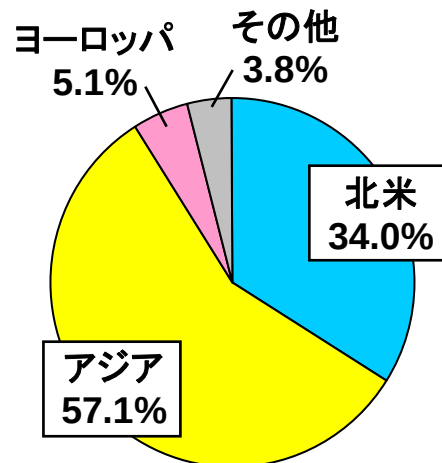
	売上高 (外部顧客への売上高)		セグメント利益 (四半期純利益)	
	(平成24年3月期2Q)	(前年同期)	(平成24年3月期2Q)	(前年同期)
ダイフク	559.3	462.7	△8.0	△10.6
コンテック	37.8	41.8	△2.0	2.6
DWHC※	140.3	103.9	4.7	4.0
その他	210.1	150.7	9.4	5.4
連結調整等	4.7	△19.7	△5.2	△13.2
計(調整後)	952.3	739.5	△1.1	△11.7

※ DWHC=DAIFUKU WEBB HOLDING COMPANY
DWHCは12月決算会社

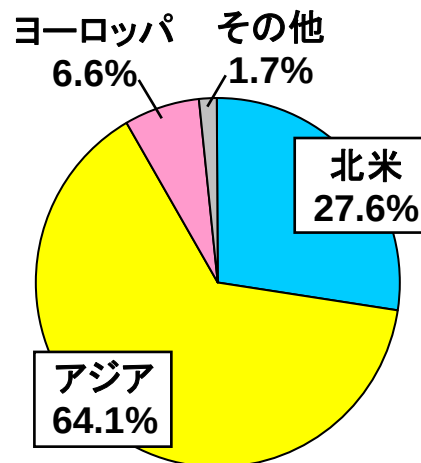
3. 海外売上高の推移



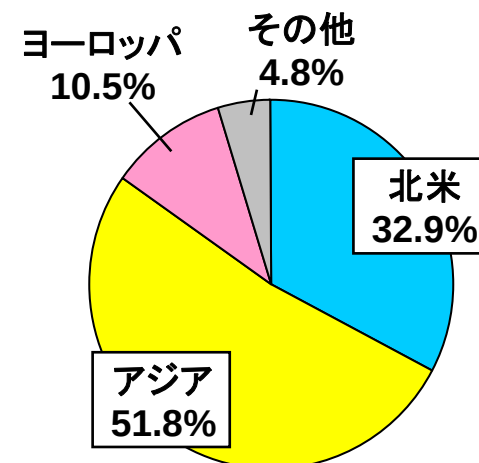
4. 海外地域別売上高



平成22年3月期2Q



平成23年3月期2Q



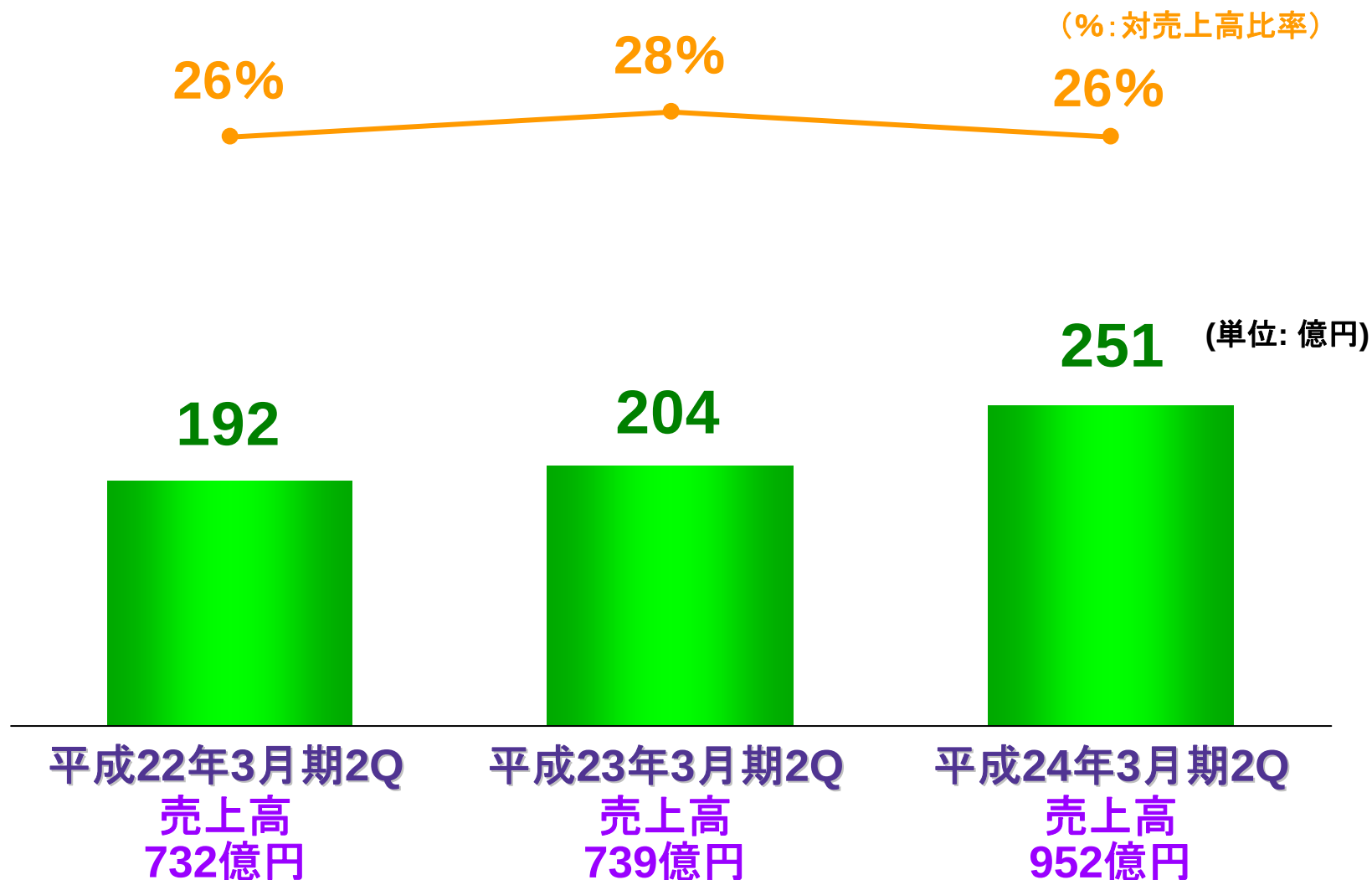
平成24年3月期2Q

(単位: 億円)

地区 国名		平成22年3月期2Q		平成23年3月期2Q		平成24年3月期2Q	
		売上高	構成比 (%)	売上高	構成比 (%)	売上高	構成比 (%)
北米		124.4	34.0	97.2	27.6	144.4	32.9
アジア		208.7	57.1	225.4	64.1	227.5	51.8
	韓国	47.3	13.0	83.0	23.6	74.5	17.0
	中国	28.6	7.8	87.9	24.9	71.9	16.4
	台湾	111.7	30.6	34.3	9.8	44.4	10.1
	その他	21.1	5.7	20.2	5.8	36.7	8.3
ヨーロッパ		18.8	5.1	23.7	6.6	46.1	10.5
その他		14.2	3.8	5.8	1.7	20.7	4.8
合計		366.1	100.0	352.1	100.0	438.7	100.0

5. サービス売上高の推移

※サービス売上高:納入したシステム・製品を対象にした、保守・メンテナンス、リニューアル、改造工事などによる売上高



6. 連結業種別受注高、売上高

自動車および自動車部品の受注・売上が回復

(単位: 億円)

業種	受注高				売上高			
	平成23年3月期2Q		平成24年3月期2Q		平成23年3月期2Q		平成24年3月期2Q	
	受注高	構成比(%)	受注高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)
自動車および自動車部品	151.6	19.7%	204.0	21.9%	116.8	15.8%	195.8	20.6%
エレクトロニクス	211.1	27.4%	235.1	25.2%	219.1	29.6%	296.5	31.1%
商業および小売業	148.2	19.2%	131.6	14.1%	170.3	23.0%	158.1	16.6%
運輸・倉庫	53.4	6.9%	40.6	4.4%	28.9	3.9%	51.3	5.4%
機械	18.3	2.4%	29.8	3.2%	18.0	2.4%	24.5	2.6%
化学・薬品	43.1	5.6%	62.0	6.7%	43.7	5.9%	49.2	5.2%
食品	28.5	3.7%	31.4	3.4%	34.6	4.7%	25.2	2.6%
鉄鋼・非鉄金属	16.7	2.2%	16.4	1.8%	13.4	1.8%	19.1	2.0%
精密機器・印刷・事務機	11.1	1.4%	17.1	1.8%	11.2	1.5%	13.4	1.4%
空港	35.9	4.7%	91.3	9.8%	42.4	5.7%	53.2	5.6%
その他	52.9	6.8%	72.7	7.7%	41.2	5.7%	66.1	6.9%
合計	770.8	100.0%	932.0	100.0%	739.6	100.0%	952.4	100.0%

7. 平成24年3月期業績予想(連結)

(8月発表から修正なし)

(単位: 億円)

(8月10日公表)

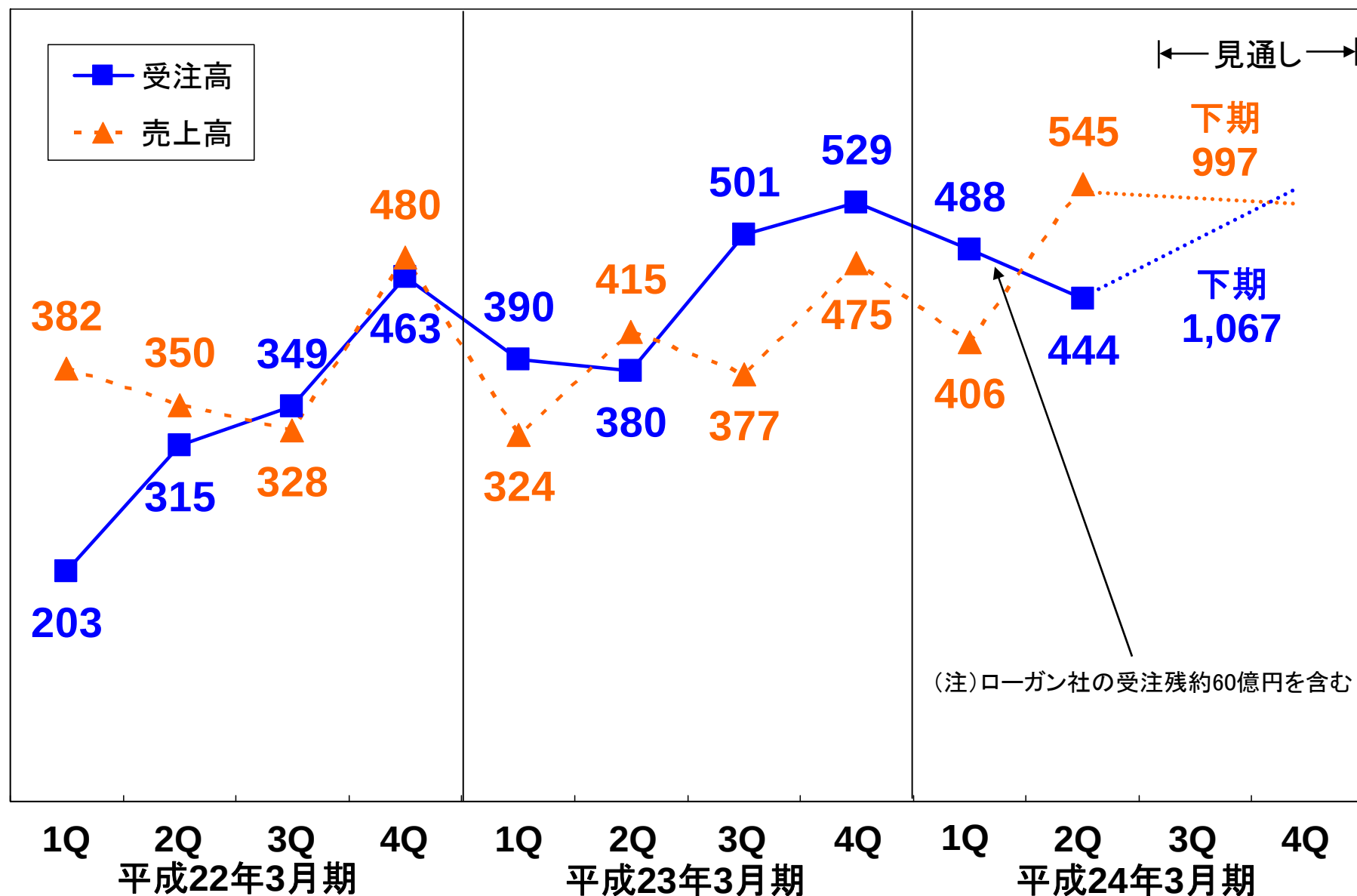
(前年同期)

(対前年同期比)

受注高	2,000	1,802	(10.9%増)
売上高	1,950	1,592	(22.4%増)
営業利益	35	17	(102.7%増)
経常利益	30	13	(123.0%増)
当期純利益	8	2	(197.0%増)
1株当たり純利益	7.23円	2.43円	

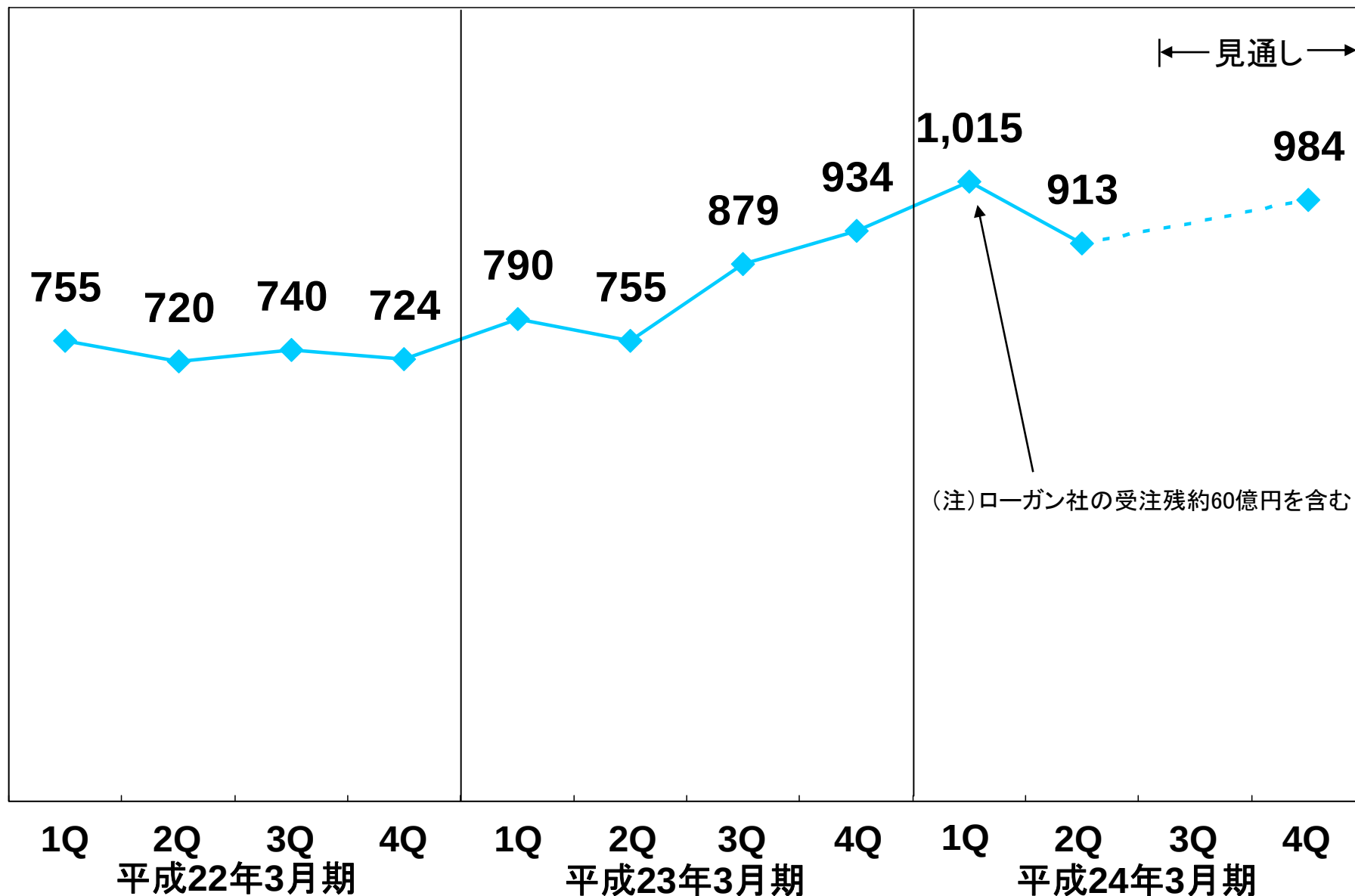
8. 受注高、売上高の四半期ごとの推移

(単位: 億円)



9. 受注残の推移

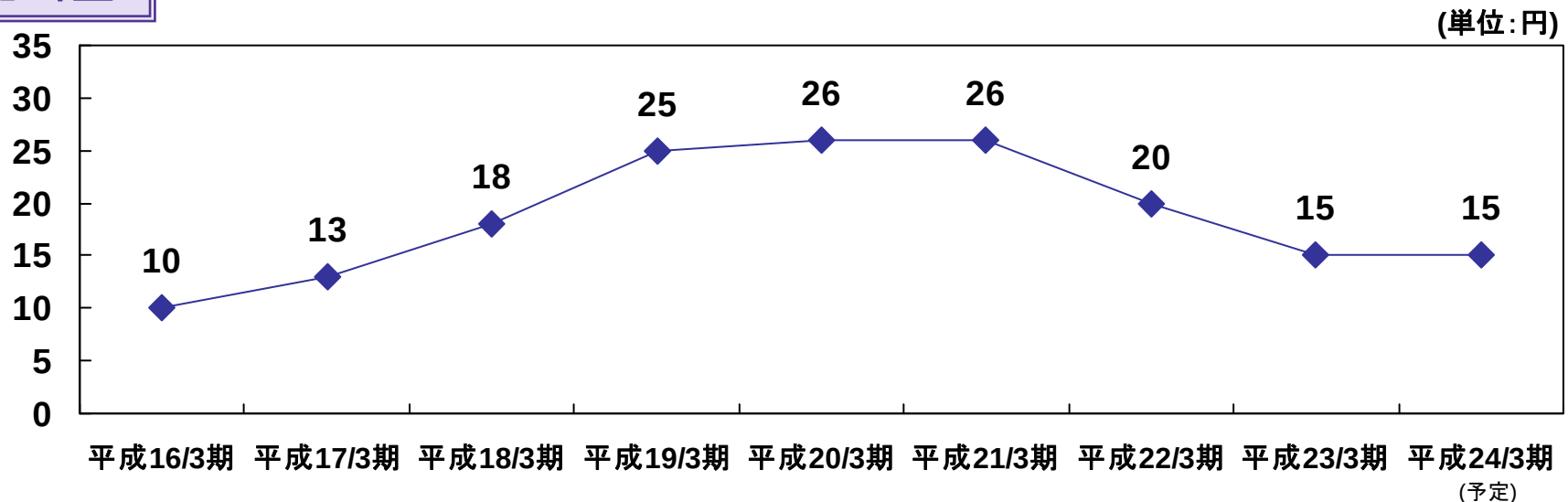
(単位: 億円)



1. 業績連動による配当政策を平成17年3月期から導入
連結当期純利益の20～30%の配当性向

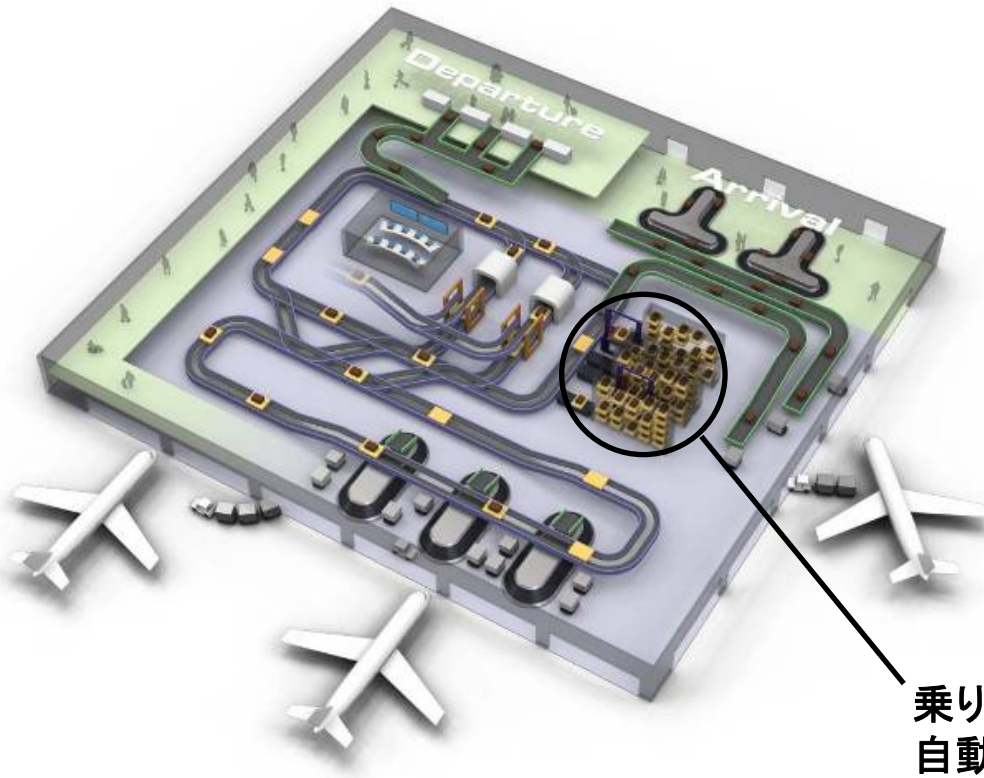
2. 平成24年3月期：中間配当**5円**
年間で**15円配当**の予定

配当金



■ 世界最速(600m/分)のバゲージ搬送システムを開発

複数ターミナルを持つ大規模空港を中心に、市場を拡大・創出する



乗り継ぐお客さまの手荷物を一時保管する
自動倉庫と組み合わせて提案することも可能

■ 社債格付〔A－〕を維持

強固な財務基盤が評価される。
短期債の格付けも最高の「a-1」を維持

将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する目標、信念、計画等は、過去の事実ではなく、最新の情報から判断した経営陣の想定や信念に基づく事業見通しであり、潜在的なリスクや不確定要素を含んでいます。実際の業績は、さまざまな重要要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要要素としては、1) 当社グループの経営環境における消費者動向および経済情勢、2) 米ドルその他の通貨建ての売上・資産・負債に対する円為替レートの影響、3) コスト上昇や販売の抑制につながる安全その他に関する法令等の規制強化、4) 災害・戦争・テロ・ストライキ・疾病等の影響などが含まれます。なお、当社グループの業績に影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。